

# CO・OP

## 京都の生協

2023/August/No. 109  
京都府生活協同組合連合会



### 鳥取から京都に牛乳が届いて半世紀

「せいきょう牛乳」のふる里～大山乳業を訪ねて～

### TalkTalk トークトーク

◆大山乳業農業協同組合 代表理事組合長 こ小 まえ前 たか孝 お夫さん  
◆京都府生活協同組合連合会 会長理事 にし西 しま島 ひで秀 ひさ向



# 対談

## TalkTalk トークとーく

### 鳥取から京都に牛乳が届いて半世紀

「せいきょう牛乳」のふる里〜大山乳業を訪ねて〜

大山乳業農業協同組合 代表理事組合長

小前孝夫さん

京都府生活協同組合連合会 会長理事

西島秀向

1970年、京都生協の産直第1号の商品として誕生したのが、大山乳業から届けられる「せいきょう牛乳」です。大山山麓の豊かな自然のなかで育まれるおいしい牛乳はたちまち多くの組合員に広がり、今では大学生協にも供給が広がっています。今

年の夏、3年ぶりの再開となる、「も〜も〜キャンプ」\*開催の地、美歎牧場に、大山乳業組合長さんを訪ねました。酪農業と乳業の実態について、牛乳の未来についてなどお伺いします。

### 大山乳業のなりたちと大手メーカーとの違い

**西島** まず、いま乳業メーカーがどんな状況にあるのか、大山乳業さんの位置づけなどからお聞かせください。大山乳業さんのように生産から販売までやる乳業は、全国にどれくらいあるのですか？

**小前** 生産・処理・販売までおこなう乳業は、現在、全国で20団体くらいです。大山乳業はなかでも比較的大きいほうです。一番、規模が大きいです。有名なのが、北海道のよつ葉乳業さんですね。

大山乳業の前身は、伯耆酪農組合という任意団体で、鳥取県中部の酪農家30軒ほどの集まりでした。戦後まもない1946年頃、養蚕から酪農へ、みたいな時期があり、この時期、全国的に多くの組織乳業が形成されていったよう

です。当時は生乳\*\*を大手メーカーに持っていくと安い値段で引き取られることも多かったし、生乳を牛乳に加工して自ら販売をしようと、工場を建設し牛乳の販売を開始していたわけです。1966年、国の制度で、各県につき1か所、県内で生産される生乳の50%以上を取り扱う組織に限り、乳業指定団体として

2024年介護保険制度改定に係る自治体訪問活動について……………7

京都府生協連第70回通常総会開催……………8

京都府生協連 第45回「京都の生協活動を豊かに発展させる協議会」……………9

2023年国際協同組合デー第33回京都集会開催……………10

総会だより①

京都地球温暖化防止府民会議通常総会……………11

京と地球（アース）の共生府民会議総会……………11

特定非営利活動法人気候ネットワーク総会……………11

ピースアクション京都 2023 ピースパレード……………12

総会だより②

京都労働者福祉協議会第67回定期総会……………13

京都府災害ボランティアセンター総会・全体研修会……………13

（一社）京都食品産業協会定時総会……………13

きょうと食育ネットワーク総会……………13

京都府生協連 第46回「京都の生協活動を豊かに発展させる協議会」……………14

おもな行事のお知らせ……………14

C/O/N/T/E/N/T/S

トークとーく対談

鳥取から京都に牛乳が届いて半世紀  
「せいきょう牛乳」のふる里〜大山乳業を訪ねて〜……………2

くらしの安全

適格消費者団体・特定適格消費者団体  
NPO法人消費者支援機構関西（KC's）  
通常総会・記念シンポジウム……………7

適格消費者団体・NPO法人  
京都消費者契約ネットワーク（KCCN）総会……………7

第54回京都消費者大会開催……………7



西島秀司  
京都市生活協同組合連合会 会長理事

位置づけられることになりました。そこで伯耆酪農は鳥取県東部にできていた美保酪農さんと合併して「大山乳業」をつくります。いまだに他所の県では、多くの組合が合併に向けて苦心しておられますから、我々の先輩は、当時から将来を見る目があったな、と感謝しています。

**西島** 大手乳業メーカーとの違いはどんなところにありますか？ 大手メーカーさんは生乳の生産はしないのですよね。

**小前** 各県にできた指定団体は、その後ブロック化がおこなわれ、いま全国に9つのブロックがあります。鳥取県は中国地区で、中国生乳販売農業協同組合連合会（略称…中国生乳販連）という組織の下に、中国5県がまとまっています。実際には生産者から大山乳業の工場に生乳を直接集めて、大山乳業として生産から処理・販売まで一貫してやっているわけですが、手続きとしては、いったんこの中国生乳販連に生乳を販売して、そこから買い取って、処理・販売するという流れになっています。大手メーカーさんも



小前孝夫さん  
大山乳業農業協同組合 代表理事組合長

また、この中国生乳販連から生乳を購入して、工場加工をして、販売していただけるわけです。

**西島** 大山乳業さんでは牛乳も乳製品も、集乳から48時間以内に製品化されたものが京都に届けられていると聞きましたが。

**小前** 鳥取県は小さな県で、大山乳業の本所工場が鳥取県のほぼ中央にあることから、生産者が集乳した生乳は2時間以内に工場に入ってきます。そこで検査を受けその結果を工場内のミルクタンクで待ちます。合格した生乳は、翌日、パックや瓶に詰められたり、一部はヨーグルトなどに回ったり、処理されていくわけです。いまはD1（翌日）出荷することにしています。

近畿にある乳業メーカー、大手メーカーさんは、中国生乳販連から生乳を買っていただいています。需給量が足りない、北海道からも生乳を仕入れるわけです。北海道は牧草の自給率が高く、質のいいおいしい生乳を生産されていますが、京都に送るには、牧場を出て、クーラーシェーションまで来て、そこから輸

送できる容器に詰め替えられて港へ運ばれ、フェリーで舞鶴に着いて、そこから工場へ、となりますから牧場を出てから3〜4日かかってようやく工場へ検査、となるわけです。もちろん5度とか7度以下とかの温度管理で輸送していますが、ただ、鮮度という点では、その地域地域の、酪農を専門とする農協のほうがはるかにいい、ということはあると思います。

6年くらい前に週刊誌で、食に精通したジャーナリストさんが「日本一老けない牛乳は鳥取にある」という記事を書いてくれました。それはやっぱり鮮度だと。鳥取県は、非常に小さな県で、集乳も短時間で済み、京都までも5、6時間で配達できますから、消費者には新鮮な牛乳を届けられます。大手のメーカーさんと比べて、私どものような酪農専門農協の生乳は、新鮮さという点では違いがあると思っています。



※もくもくキャンプ 大山・美敷牧場を訪ねて、組合員と生産者との交流、牧場見学、バーベキュー・キャンプなど、楽しさいっぱいの体験企画です。

※生乳 生乳は乳牛から搾ったままの乳のこと。生乳は、目に見えない雑菌が混入しているため、牛乳の飲用に關しては、食品衛生法に定められている規格に基づき処理した「牛乳」だけが一般に流通されます。

## おいしい牛乳、質の高い牛乳とは？

**西島**

北海道の牛乳の話が出ましたが、質の高いおいしい牛乳という点で、乳牛の健康管理、食餌管理などで、工夫されていることはありますか。

**小前** 鳥取県では、自給飼料の生産に積極的に取り組んでおり、中国管内でも最も自給率が高い県です。表作でトウモロコシ、裏作でイタリアンライグラスという牧草を作付

けし、それをサイレージ<sup>※</sup>にして、自給飼料として給餌しています。適度に水分がある草を漬物のような状態にして

数か月間、寝かせるのです。すると発酵して非常においしい飼料となり、暑い夏場なども好んで食べてくれます。夏場はどうしても暑さで牛の食

るのです。まあ若干下がるのは、人にとっても生理的に

合っているとも言えるかもしれません。夏場はこつてりした牛乳よりも、ちよつとさつぱりした牛乳のほうが好まれ、逆に冬は脂肪分や無脂肪固形分が多い濃厚な牛乳のほうが

いい、と。しかし夏場でも乳脂肪分3・5%を切るような脂肪分ではいけないし、鳥取県では夏でも標準よりも0・2%くらい高い基準でパック詰めしています。

また梅雨や夏の暑い時期は、牛がストレスを感じやすく、からだの免疫性が落ち乳房に炎症などが起こったりしないように、環境を良くし、牛のベッドの乾燥を保つことや、飼料のバランスを考えて牛が

※サイレージ 牧草や飼料作物など高水分の飼料を適度な水分を保ったまま密封し、乳酸発酵を行うことで貯蔵性を高めた飼料のこと。

## 産直牛乳が始まった1970年当時 牛乳の主流は「加工乳」だった

**西島** 京都生協が大山乳業さ

んからの産直をはじめた1970年の頃、日本では牛乳といえば加工乳が主流だったと聞きます。

**小前** そうですね、当時は日本中で、生乳が足りない状態で、大手メーカーさんが、脱脂粉乳を加えたり、脂肪分としてヤシ油を入れたりして加工したのも「牛乳」として販売していました。これは別に飲んで身体に悪いものではないのですが、やっぱりおいしくなかったでしょうね。鳥

取県ではちょうどこの頃から

生乳の生産が徐々に増え、宅配牛乳をはじめたり、鳥取県生協での牛乳の取り扱いがはじまっています。その頃、

京都生協の組合員さんから、「家族みんなではんもの牛乳を飲みたい」という要望があったのです。  
**西島** 京都生協にとつての産直商品の第一号でした。当時は一日に2000本くらいだった牛乳の販売が、半年で1万6000本まで増えました。それまで加工乳を飲んで

いた組合員が、牛乳がこんな

においしいものか、と口コミで広まっていったのですね。「せいきょう牛乳が飲みたいから生協に入った」という人も増えました。

**小前** 私もそんなふう聞いています。そういう思いは大変ありがたいですし、生産者としても安定的に牛乳を消費し続けてくださることに、心から感謝しています。  
**西島** そういう歴史は、時代が変わっても、本当に忘れてはいけないと思いますね。



京都生協の寄贈により、あらたに牧場キャンプ場の整備がおこなわれました。

## 乳価への理解と、牛乳を飲み続けることが、酪農を守ることに

**西島** ところで乳価については、どうでしょうか？ ロシアのウクライナ侵攻の影響でエネルギー価格が高騰し、食料品価格が軒並み値上がりしております。円安も続いています。  
**小前** ここ2年ほどで、輸入飼料の価格が1・8倍になりました。例えば牛乳1リットルの価格が100円だとする

と50円、だいたい50%が飼料代にかかっています。輸入だろろうが自給飼料だろろうが、半分はエサ代です。そのうえ施設や機械の減価償却費、修理代、電気代などが30〜35%。残りの15〜20%くらいが利益として残るわけですが、50%を占める飼料代が1・8倍になれば、完全に赤字です。

乳価は最低でも30円上げないと再生可能レベルにならないです。「そんな赤字でよく経営がやれるな」と言われませんが、いまは行政からのコロナ支援金があるからですが、ここ2年ほど、どの酪農家でも、設備や機械のメンテナンスができていません。おそらく何年か先にはこの負債が確

実に回ってきます。酪農経営はいま危機的な状況です。  
**西島** 危機を脱するために、どんな方策や努力が考えられますか？  
**小前** ひとつは乳価を適正価格に上げること、為替や世界の飼料価格の変動に振り回されないように、さらに自給率を高める、国内資源を有効活用することですね。

酪農、特に牛乳に対しては、食肉と違って保障がほとんどありません。これから後継しようという人にとっては先行きが不安定です。生産コストが上がっても価格転嫁ができない分を国が保障する。ヨーロッパのような所得保障のしくみがないと、将来的に安定した酪農経営はできません。  
**西島** 消費者は牛乳の値段が上がることに對して、「はい。わかりました」とはなかなか言えないですが、日本の酪農を守っていくことは、理解していく必要がありますね。  
**小前** ある程度の価格を理解してほしいこと、それから牛乳を飲み続けてくださることが一番です。コロナ禍で、インバウンドや外食が減り、乳製品がダメージを受けています。そこに乳価が上がり飲用の消費が減ると、いまでも過剰な乳製品在庫がまた増えることを懸念して、大手メーカーは乳価の値上げに消極的です。とにかく一杯でも多く牛乳を飲み続けてください。

乳価は最低でも30円上げないと再生可能レベルにならないです。「そんな赤字でよく経営がやれるな」と言われませんが、いまは行政からのコロナ支援金があるからですが、ここ2年ほど、どの酪農家でも、設備や機械のメンテナンスができていません。おそらく何年か先にはこの負債が確

実に回ってきます。酪農経営はいま危機的な状況です。  
**西島** 危機を脱するために、どんな方策や努力が考えられますか？  
**小前** ひとつは乳価を適正価格に上げること、為替や世界の飼料価格の変動に振り回されないように、さらに自給率を高める、国内資源を有効活用することですね。

酪農、特に牛乳に対しては、食肉と違って保障がほとんどありません。これから後継しようという人にとっては先行きが不安定です。生産コストが上がっても価格転嫁ができない分を国が保障する。ヨーロッパのような所得保障のしくみがないと、将来的に安定した酪農経営はできません。  
**西島** 消費者は牛乳の値段が上がることに對して、「はい。わかりました」とはなかなか言えないですが、日本の酪農を守っていくことは、理解していく必要がありますね。  
**小前** ある程度の価格を理解してほしいこと、それから牛乳を飲み続けてくださることが一番です。コロナ禍で、インバウンドや外食が減り、乳製品がダメージを受けています。そこに乳価が上がり飲用の消費が減ると、いまでも過剰な乳製品在庫がまた増えることを懸念して、大手メーカーは乳価の値上げに消極的です。とにかく一杯でも多く牛乳を飲み続けてください。

## コロナ後の生産者と消費者の交流の再開

**西島** そういう意味からも「CO-OP牛乳産直交流協会」など、これまでやってこ

られた生産者と消費者との交流の場はこれからもますます重要ですね。

**小前** 産直交流協会は立ち上げから33年になります。組合員と生産者が参加するフォー

※CO-OP牛乳産直交流協会  
CO-OP牛乳・牛肉の産直事業を行う生協グループと農協が、協同組合協同を推進し、組合員と役員との交流を通じて相互理解と信頼の絆を深めあい、お互いの発展を図ることを目的に1990年に設立しました。構成団体は、大山乳業農協、鳥取県畜産農協、京都生協、大学生協事業連合、京都協同食品プロダクト(株)、鳥取県生協、生協コープしが、京都府生協連の8団体。





ラムや、生産者が現地に出かけて組合員さんと交流するなど、ここ3年ほどコロナで活動できませんでしたが、これからは生産者の思いを届け、また消費者の方の声を聞かせてもらう機会を数多くもっていききたいと思っています。

**西島** 生産者と消費者が直面する問題を共に分かち合い共

有しあって、解決の道を探していく。消費者市民社会の一員として、消費者の立場からSDGsが掲げるような持続可能な社会をめざし、生産者と共に責任を持ち合える消費者市民社会をつくっていく。とてもいい活動だと思います。私も25年ほど前に、「一組合員」として「も〜も〜キャンプ」に参加して、この美敷牧場に来たことがあります。一番印象に残っているのは、牛乳をぐるぐる攪拌するだけでバ



ターができたことでした(笑)。  
**小前** 京都生協さんは、毎年「も〜も〜キャンプ」にたくさん参加していただいています。これも今年の夏からようやく再開しますので、ぜひ大勢来ていただいて、大山の空を感じ、満天の星空のもと、おいしい牧草を食べて育つ牛たちをじかに見ていただき、こういう環境で生産される牛乳に理解を深めていただき飲用増加につながっていくことを期待しています。

## デジタル化がひらく未来の可能性

**小前** 時代の流れでもあると思いますが、以前なら共同購入の井戸端会議で「やっぱりせいきょう牛乳はおいしいね」とか口コミの「力」があったと思うのです。コロナがあり、また生協さんの仕組み自体も個性が主流になったり、注文もチラシではなく、パソコンやスマホになったりと、これは生産者同士にも同じことが言えますが、人と人とのつながりが希薄になってしまわないか、心配なことが

あります。  
**西島** 同感です。産直製品ができた1970年頃は、やはり人が集まる「力が力」になりました。集会を開くことで牛乳の利用が伸びた。いまは一人ひとりの多様性が尊重される傾向があります。しかし、いっぽうで、例えば「も〜も〜キャンプ」に参加した親子が、「キャンプの様子を動画でYouTubeに配信し、それを見て、キャンプに行きたい」とか、「牛乳をこんな

ふうに飲む」という動画を見て、消費が伸びたとか、そういう新しい結びつき方、コミュニティの広がり方にも可能性はあると思います。コロナ禍の3年間は特にそのことを実感させられました。  
**小前** その通りですね。以前なら商品交流会やミニ懇談会でも、直接その場に行かなければ参加できなかったのが、いまはオンラインで、小さいお子さんがいても自宅から参加できますね。そういう機会

を増やして、新たな時代の井戸端会議の場が作られるといいですね。そんな取り組みを生協さんと一緒になって、我々も仕掛けられたらいいなと思います。  
**西島** これからも、ぜひよろしくお願いたします。



プロフィール  
**小前孝夫** (こまえ・たかお)

大山乳業農業協同組合 代表理事組合長  
 1957年鳥取県琴浦町生まれ。  
 一般企業に就職後、実家である酪農へ就農。2017年5代目組合長に就任。  
 就任後は、良質生乳生産に向けた白バラ認証制度の導入や白バラブランドの更なる強化に取り組む。  
 現在は毎朝牛舎にも通いながら組合長を務める。



議案提案をするKC's・  
小林紀久子事務局長

## 適格消費者団体・特定適格消費者団体 NPO法人消費者支援機構関西(KC's) 通常総会・記念シンポジウム 京都市生協連・西島秀向会長理事が 理事長に選出!

2023年6月24日(土)、

エルおおさかで開催されました。感染拡大防止のため、会場とオンラインを併用し、書面による議決運営を中心に開催されました。提案されたすべての議案(2022年度事業報告・決算、2023年度事業計画・予算、役員選任、定款変更)が可決承認されました。総会終了後は、記念シンポジウムが開催され、2022年12月12日に最高裁において逆転勝訴がされた家賃債務保証会社に対する差止請求訴訟を振り返り、居住用賃



貸借契約や保証問題の現状と適格消費者団体の取組み、最高裁判決の意義を考えあいました。2022年度より、京都市生協連からは西島秀向会長理事を理事として派出しており、第1回理事会で理事長に互選されました。

### 適格消費者団体・NPO法 人 京都消費者契約ネット ワーク(KCCN) 総会

2023年5月30日(火)、

京都司法書士会館会議室で開催、野々山宏理事長より開会あいさつがありました。石田郁雄理事が議長に選任され、全議案が可決されました。3年ぶりに実開催となり、役員を中心に15人の会場参加がありました。

今年は役員改選があり、京都市生協連・高取専務理事が理事に選任されました。総会後に池本誠司弁護士を講師にお迎えし、記念講演(オンライン)が開催され、「特商法2022年省令改正の活用と特商法5年後見直しの課題」と題して、改正された特定商取引法の具体的な内容と活用方法を中心に講演がありました。

消費生活相談員を中心に参加者からは質問がだされ活発な議論がおこなわれました。オンラインを含めて25人が参加しました。

### 第54回京都消費者大会開催

2023年5月27日(土)、

ウイングス京都で開催されました。

会場とオンラインによる開催で、主催は京都府、京都市、NPO法人コンシューマーズ京都で、京都市生協連が後援しました。

テーマは「デジタル社会と消費者のくらしについて考える」安心で豊かな消費生活のために。

成蹊大学・高橋暁子客員教授(ITジャーナリスト)より、「デジタル社会で安全にくらすためにSNS・ネットのリスクと対策」と題して講演がありました。つぎに「子どもの主体的な学びを引き出すデジタルコンテンツの開発」と題して、滋賀大学教職大学院・岸田蘭子特任教授(京都市教育委員会指導部参与)より講演。講師二人による対談もあり、質疑応答がおこなわれました。会場43人、オンライン47人が参加しました。

### 2024年介護保険制度改定に係る自治体訪問活動について

2023年3月14日(火)、

2024年に予定される「介護保険制度改定」に向けた、自治体の準備状況の聞き取りや、当該事業をすすめている生協の活動を紹介し、連携して地域のくらしを守る取り組みの推進につながることを目的に、訪問活動に取り組みました。

参加した会員生協は、京都生協、乙訓医療生協、やましろ健康医療生協、京都高齢者生協くらしコープの役職員。京都市生協連から、西島秀向会長理事、高取淳専務理事が参加しました。

訪問先は、京都府と京都市。懇談では、生協が考える2024年改定予定の介護保険制度への提言を紹介、会員生協からは、それぞれの福祉事業や活動の紹介をおこない、京都市と京都市からは、介護保険にかかわる課題や、制度改定に向けた準備状況などをお聞きしました。

# 京都市生協連 第70回通常総会開催

## 全議案を満場一致で可決、役員21人を選任

2023年6月13日(火)、午後3時から京都市立社会福祉会館ハートピア京都で開催しました。

今総会の代議員数は45人で、当日の出席は本人出席20人、書面出席25人でした。ご来賓をはじめ、55人が参加しました。西島秀向会長理事が開会のあいさつをのべました。



京都労働者福祉協議会・原敏之会長



京都市文化生活部・益田結花部長 (京都府・西脇隆俊知事代理)



開会あいさつをする西島秀向会長理事

つづいてご来賓の京都市文化生活部・益田結花部長(京都府・西脇隆俊知事代理)、京都労働者福祉協議会・原敏之会長から、ご祝辞をいただきました。

九鬼隆一事務局長(当時)が、国会議員、各関係団体、各生協からいただいた85通の祝辞や祝電・メッセージの一部を紹介しました。

提案されたすべての議案が、満場一致で可決されました。

員外理事をふくむ18人の理事と3人の監事が選任されました。2023年度の役員体制は左ページのとおりです。



京都大学生協・吉岡充代子代議員を議長に選出

### 祝辞・祝電・メッセージをお寄せいただいた方がた

(敬称略・順不同・6月13日現在)

衆議院議員	泉ケンタ	衆議院議員	勝目 康	衆議院議員	北神圭朗
衆議院議員	こくた恵二	衆議院議員	本田太郎	衆議院議員	前原誠司
参議院議員	福山哲郎	参議院議員	井上さとし	参議院議員	倉林明子
京都市長	門川大作	京都市議会議長	石田宗久	京都府社会福祉協議会会長	小畑英明
京都市社会福祉協議会会長	小石玖三主	京都商工会議所会頭	塚本能交	京都府農業協同組合中央会会長	中川泰宏
京都府森林組合連合会代表理事会長	青合幹夫	京都府漁業協同組合代表理事組合長	西川順之輔	近畿労働金庫理事長	江川光一

2023年度役職員体制 6月14日現在(敬称略)

\*印は新任

代表理事・会長理事	西 島 秀 向 (員外)	副会長理事	畑 忠 男 (京都生活協同組合理事長)
副会長理事	國 見 伸 行 (京大大学生協同組合専務理事)	代表理事・専務理事	高 取 淳 (員外)
常任理事	本 多 浩 (京都府庁生活協同組合理事長兼専務理事)	常任理事	風 折 昌 樹 (立命館生活協同組合専務理事)
理 事	上 西 良 太 (乙訓医療生活協同組合専務理事)	理 事	浦 田 千 恵 (生活協同組合生活クラブ京都エル・コープ常任理事)
理 事	奥 谷 和 隆 (京都高齢者生活協同組合くらしコープ)	理 事	川 村 幸 子 (員外)
理 事	姜 美 名 * (京都生活協同組合副理事長)	理 事	清 水 泰 治 (京都医療生活協同組合専務理事)
理 事	杉 江 勇 亮 (京都府立医大府立大学生協同組合専務理事)	理 事	高 倉 通 孝 (京都生活協同組合専務理事)
理 事	堂 本 吉 次 (やましろ健康医療生活協同組合専務理事)	理 事	蛭 田 美 幸 (全京都勤労者共済生活協同組合専務理事)
理 事	筆 口 智 子 * (生活協同組合コープ自然派常任理事)	理 事	吉 田 不 二 男 (京都市民共済生活協同組合専務理事)
特定監事	長 誠 一 郎 (乙訓医療生活協同組合監事)	監 事	鯉 迫 裕 子 (同志社生活協同組合専務理事)
監 事	河 野 直 (京都生活協同組合常勤監事)		
(事務局)			
事務局長	鯉 江 賢 光 事務局担当	川 端 浩 子 事務局担当	岡 本 朋 子

今回退任された役員 6月13日現在(敬称略)

理事 坂 本 真 有 美 (生活協同組合コープ自然派京都理事長)



退任あいさつをする坂本真有美氏

京都府生協連 第45回「京都の生協活動を豊かに発展させる協議会」

～組織と事業のイノベーションによる協同組合のあらたな価値の発見・創造の場として～

テーマ 2023年度会員生協の活動方針の交流



京都府庁生協・本多浩理事長兼専務理事

生協生活クラブ京都エル・コープ・浦田千恵理事

京都生協・富田晋悟機関組織運営系統統括マネジャー

京都府生協連・風折昌樹常任理事

2023年4月11日(火)、会場とオンラインで開催し、役員等25人が参加しました。風折昌樹常任理事がコーディネーターをつとめました。各分野の会員生協から次年度方針の重点課題や新たな取り組み等の報告を受け、全体交流しました。会員生協からの報告は、京都生協・富田晋悟機関組織運営系統統括マネジャー、生協生活クラブ京都エル・コープ・浦田千恵理事、京都府庁生協・本多浩理事長兼専務理事、乙訓医療生協・上西良太専務理事、京都市民共済生協・吉田不二男専務理事、同志社生協・堂免裕子専



京都府立医科大学・府立大学生協・杉江勇亮専務理事

同志社生協・堂免裕子専務理事

京都市民共済生協・吉田不二男専務理事

乙訓医療生協・上西良太専務理事

務理事、京都府立医科大学府立大学生協・杉江勇亮専務理事。参加者からは「人と人とのつながり・他団体との連携、改めて大切だと思いました。未来にむけて一歩ずつ、みんなが安心してくらせる社会になればと思います」「どの生協もコロナの影響や社会経済状況の悪化により、経営状況が厳しく、そのためにさまざまな取り組みをされていることがよくわかりました。他の生協の取り組みも参考にして組合員様の満足向上と組合の安定経営につなげたいです」などの感想が出されました。



(左から) JA京都中央会・中川泰宏会長、JF京都・西川順之輔代表理事組合長、京都府生協連・西島秀向会長理事、京都府森林組合連合会・青合幹夫代表理事会長

# 2023年国際協同組合デー 第33回京都集会開催

## 「協同組合間連携をどうすすめるか」をテーマに開催

2023年7月5日(水)、京都JABビルで開催され、JA、JF、森林組合、生協から会場40人、オンライン62人の計102人が参加しました。国際協同組合デーは毎年7月第1土曜日を全世界の協同組合員が心をひとつにして協同組合の発展を願い、平和とよりよい生活を築くために、運動の前進を誓い合う日として、1922年に制定されました。

京都では毎年、京都府協同組合連絡協議会(JA京都中央会・京都府森林組合連合会・JF京都・京都府生活協同組合連合会)の主催で記念集会を実施しています。

今回のテーマは「協同組合間連携をどうすすめるか」。

北神圭朗衆議院議員から祝辞をいただきました。司会は京都府漁業協同組合組織部・千賀隼人次長が担当し、JA京都中央会・中川泰宏会長よ

り開会あいさつがありました。「協同組合間連携をどうすすめるか」と題して、一般社団法人・日本協同組合連携機構(JCA)・小林元<sup>はじめ</sup>主席研究員基礎研究部長にご講演をいただきました。

参加者からは、「つながりから新しい事ができる可能性がたくさんあるという事が理解できた」「協同組合というものがどういうものであるか、また、どうあるべきなのか、改めて考える機会となる講演でした」「いろんな連携がある事に心強さと希望を感じました」など多くの感想がよせられました。



JA京都中央会・中川泰宏会長が開会あいさつ



閉会あいさつをする京都府森林組合連合会・青合幹夫代表理事会長

各協同組合からは「協同組合の担い手が語る」と題した活動報告がありました。

参加者からは「日頃なじみのない、さまざまな分野の協同組合の活動を知ることができて、とても興味深く、毎年楽しみにしています」「違う協同組合が一堂に会して活動報告をする。お互いを知る上で大変重要な機会だと思いました」などの感想がよせられました。

閉会にあたり、京都府森林組合連合会・青合幹夫代表理事会長が「協同組合を取り巻く環境は大変厳しいが、協同組合間連携でさらなる発展をめざしましょう」とあいさつされました。

## 総会だより①

### 京都地球温暖化防止府民会議 通常総会

6月17日(土)、会場(京都経済センター)とオンラインを併用し開催されました。2022年度事業報告と決算、2023年度事業計画と予算、役員変更等、6つの議案が承認されました。平成31年度の方針では、パリ協定の発効を受けて、ビジョンをこれまでの「低炭素型のステキな京都」から「脱炭素型のステキな京都」の実現に変更し、より活動を強化することを目指します。また、京都議定書採択から20周年にあたるという契機を活かし、情報発信等を広く展開します。

総会終了後は、滋賀県立大学・平岡俊一氏を講師に、「脱炭素地域づくりを担う・支える存在～オーストリアにおける専門人材、中間支援組織から考える～」をテーマに講演がありました。

### 京と地球(アース)の共生府民会議 総会

7月7日(金)、オンライン形式で開催されました。京都府総合政策環境部・岡本孝樹部長より開会のあいさつがありました。令和4年度事業実績報告および令和5年度事業計画等、すべての議案が議決されました。事業計画では、環境フェスティバルの開催等、活動の活性化をめざしたいとの報告がありました。その後、構成団体による活動状況・取組事例についての報告がされました。当会議は、京都府生協連を含む47の団体で構成されています。

### 特定非営利活動法人気候ネットワーク 総会

6月20日(火)、オンラインで開催されました。浅岡美恵理事長より開会のあいさつがあり、田浦健朗理事から議案提案がありました。2022年度事業報告・収支報告および2023年度事業計画・予算等、すべての議案が議決されました。オンラインでの開催ということもあり、全国から多くの方が出席されました。



小林 元氏

一般社団法人・日本協同組合連携機構(ＪＣＡ) 主席研究員基礎研究部長

《記念講演》  
「協同組合間連携を  
どうすすめるか」



増山 佳苗氏

「輪々人と人とのつながりを大切に」  
ＪＡ京都にのくに  
上林支店支店長



石倉 寛一氏

「定置網漁業の持続的な経営を目指して」  
有限会社新井崎水産



伊藤 嶺志氏

「森林組合の取り組みについて」  
亀岡市森林組合



榎本 真弓氏

「親子オンライン食育企画  
地場野菜生産者との交流＆親子ミニクッキング」  
京都生協東ブロック事務局プロック長補佐

# 協同組合の担い手が語る

ＪＡ・ＪＦ・森林組合・生協から  
活動報告がありました

# ピースアクション京都 2023

6月21日(水)、京都府生協連のよびかけで  
生協組合員約40人が、ピースパレードに参加



生協コープ自然派京都・坂本真有美前理事長、京都府生協連・高取淳専務理事、同・西島秀向会長理事、同・川村幸子理事、同・姜美名理事が先頭をきって行進

2023年6月21日(水)、  
「2023年ピースパレード  
京都」が取り組まれました。  
「平和と核廃絶の願いをもち  
より、広島・長崎での世界大  
会につなげよう」との趣旨で  
はじまった京都の生協のピー  
スパレードは今年で39回目を  
むかえました。  
京都府生協連のよびかけ  
で、京都生協・生協コープ自  
然派京都・京都高齢者生協く  
らしコープ・大学生協などの  
ほか、鳥取県の生協からの参  
加もあり、組合員・役員約  
40人が「今ある平和はたから

鳥取県の生協のみなさん

 A group of people, some wearing hats and backpacks, are marching in a parade. They are holding a white banner with the text: 「核兵器と戦争のない平和な世界へ」 (Towards a world without nuclear weapons and war), 「日本海コース 2023」 (Sea of Japan Course 2023), and 「ピース 平和行進」 (Peace March).


鳥取県の生協のみなさん



京都生協役員のみなさん

ものー未来をつくるのはわた  
したちー戦争も核兵器もない  
社会をめざして！」をテーマ  
に「NONUKES 核兵器  
はいらない！」のプラカード  
を掲げ、街ゆく人びとに力づ  
よくアピールしました。  
多くの観光客の中を、東山  
区の蹴上から三条通りを行進  
し、三条大橋を渡り、河原町  
通りを北上して、京都市役所  
へ。  
平和の象徴である鳩を折り  
紙で作り、沿道の海外からの  
観光客などに配りながら、平  
和をアピールするなど、華や  
かな行進になりました。

## 総会だより②

### 京都労働者福祉協議会第67回定期総会

5月25日(木)、ラポール京都(京都労働者総合会館)で開催されました。

京都労働者福祉協議会(京都労福協)は、「連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくらう!」をスローガンに掲げ、行政や労働団体などの関係団体と連携し、勤労者福祉の向上などさまざまな活動を展開しています。提案された「2022年度活動報告・会計報告等」「2023年度活動方針・予算」「役員体制」等の議案すべてが承認されました。京都府生協連では高取淳専務理事を理事に派出しています。

### 京都府災害ボランティアセンター総会・全体研修会

6月3日(土)、京都テルサ東館2階第2セミナー室とオンラインを併用して開催されました。提案されたすべての議案について審議され、承認されました。同センターは、2004年に発生した台風23号による災害の教訓をいかし、被災地で円滑なボランティア活動をおこない早期復旧に尽くすことを目的に2005年に行政・民間団体・社会福祉協議会等による公・民協働、常設の災害ボランティアセンター組織として発足しました。京都府生協連は正会員として加盟しており、鯉江賢光事務局長が副代表をつとめています。

### (一社) 京都食品産業協会定時総会

6月19日(月)、京都ブライトンホテルで開催されました。

提案された第1号議案「令和4年度事業報告及び財務諸表承認の件」第2号議案「役員改選の件」のすべての議案が承認されました。

総会後に京都府農林水産技術センター・大橋善之センター長による「京都府の農林水産業と農林水産技術センターの研究」と題した研修会がありました。

京都府生協連では、畑忠男副会長理事を理事として派出しています。

### きょうと食育ネットワーク総会

7月5日(水)、オンラインで開催されました。提案された第1号議案「令和5年度事業計画について」第2号議案「役員を選任について」のすべての議案が承認されました。京都府生協連・鯉江賢光事務局長が幹事に選任されました。



核兵器をなくそう!のメッセージが書かれた袋に、折り紙の鳩を入れて手渡しました



沿道の紫陽花にも歓迎されて



京都府生協連・西島秀向会長理事

ゴールとなった京都市役所前では、まとめ集会がおこなわれ、京都府生協連・西島秀向会長理事が生協を代表して、「被害の実相を学び、くらしの中から平和を語り、考えあう活動を進めていきたい。核兵器をなくそうという想いを込め、これからも共に一歩ずつ歩みを進めていきたいと思います」とあいさつをおこないました。

ピースパレード終了後、京都府生協連のよびかけで、ピース交歓会を、コープ御所南ビル会議室で開催しました。平和を願う想いやメッセージを出しあい交流を深めることを目的に開催。東京からの通し行進者・村上厚子さんのあいさつをはじめ、鳥取県生協連など生協関係者や、京都原水協関係者等がメッセージを発言し、交流を深めました。21人が参加しました。



原水爆禁止京都協議会・平信行事務局長



通し行進の村上厚子さん



ピース交歓会  
開催

# 京都府生協連 第46回「京都の生協活動を豊かに発展させる協議会」

～組織と事業のイノベーションによる協同組合のあらたな価値の発見・創造の場として～

テーマ

## 安心してくらせる地域・社会づくりの 取組み、各生協の福祉事業に学ぶ

2023年7月11日(火)、会場とオンラインで開催し、役員等24人が参加しました。西島秀向会長理事が開会のあいさつとコーディネートをつとめました。



立命館大学・佐藤卓利特任教授

介護を社会化することを目的に介護保険法が施行されて、今年で23年目になります。しかし介護を必要とする人口が増える一方で、保険料の負担増や介護現場での深刻な人材不足等、多くの課題を抱えています。今回は、2024年の介護保険制度改定にあたり、現在から未来にむけての地域やくらしを想定し、生協としてどう役割を発揮するのかを考える機会として開催しました。



京都生協くらしサポート事業システム・金山修統括マネジャー



生協生活クラブ京都エル・コープ・山路容子理事長

立命館大学経済学部・佐藤卓利特任教授(乙訓医療生協理事)より「日本の福祉政策の現状と2024年の介護保険制度改定」について、講演がありました。

佐藤教授は、介護保険を取り巻く状況は深刻で、利用者の増加と、それにもなう介護職員の人材不足について、くわしく報告され、福祉の活動に取り組み生協で横の連携を強め、情報共有をすすめていきたいと思います。



乙訓医療生協・藤田育男常務理事

つぎに福祉事業の取組みについて、5つの会員生協が報告しました。

京都生協・くらしサポート事業システム・金山修統括マネジャー、生協生活クラブ京都エ

ル・コープ・山路容子理事長、乙訓医療生協・藤田育男常務理事、京都高齢者生協くらしコープ・奥谷和隆専務理事、やましろ健康医療生協・堂本吉次専務理事より報告があり、全体交流しました。



京都高齢者生協くらしコープ・奥谷和隆専務理事

参加者からは、「地域の中で生協として何が出来るかを考えた時、総合的にくらしの中の組合員の願いをかなえるためには介護保険事業も含め、生協に多くの役割があると思います」「今後も情報交換の場が持てればと思います」「国と自治体の役割、負担などよくわかった」「担い手不足は深刻であり、このままでは介護事業は持たないだろう。行政との連携が大切だと思った」などの感想が寄せられました。



やましろ健康医療生協・堂本吉次専務理事

### おもな行事のお知らせ

#### 2023年度京都府総合防災訓練

日時：9月3日(日)午前  
会場：主会場：亀岡市保津川水辺公園、他

※京都府生協連はJAグループとともに緊急物資搬送訓練に参加。

#### 京都府協同組合

#### 「第22回役員体験・交流学校」

主催：京都府協同組合連絡協議会 (JA京都中央会・森連・JF京都・生協連)

日時：9月7日(木)13:00～8日(金)12:00(予定)

会場：JA京都にのくに本店(綾部市)など(予定)

テーマ：「京都の農産物の生産・流通に学ぶ」

#### 国連原爆展in京都

共催：京都生協、NPO法人コンシユーマーズ京都、京都府生協連

日時：8月25日(金)10:00～27日(日)15:00

会場：京都教育文化センター103 ※26日(土)13:30～

日本被団協・木戸季市事務局長を講師に学習講演会開催

#### 京都消費者問題セミナー

日時：11月25日(土)13:30～15:30(予定)

オンライン開催(予定)

CO-OP

発行：京都府生活協同組合連合会 TEL075(251)1501  
URL: http://www.kyotofu-seikyoren.com E-mail: kyotofu-seikyoren@ma2.seikyone.jp

〒604-0087 京都市中京区烏丸通一条上る時絵屋町2008番地 コープ御所南ビル4階